

平成25年12月定例会一般質問表

12. 9、10、11

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	3 番 船 山 利 美 議 員	<p>1. 7・18、22の豪雨災害を検証し、今後の防災の取組について</p> <p>(1) 今年の気象状況は世界的にも異常気象が頻発し、日本でも各地に大きな災害が発生した。本市でも7月18・22日の豪雨災害により、甚大な被害を受けた。検証や総括する中で順次見直しや検討など整備も進んでいるが、時間の経過とともに見えてくる課題等もあり、早急な人命最優先の防災・減災計画の再構築が必要かと思う。今後の取組について何点か質問する。</p> <p>① 危機管理課を中心に各地区への自主防災組織の設置推進や機能充実に向けた取り組みがなされているが、市内の組織率はどの程度進んでいるのか、また、災害時に充分機能できる組織としての指導や情報交換などは考えておられるのか。</p> <p>② 災害の教訓として、避難所や誘導の情報が錯綜して混乱を招いたところもあったと聞いているが、地区毎の避難所情報や誘導手順等に関するマニュアルの作成はあるのか、また、「避難指示」「避難勧告」等の避難情報に関する危険度の解説や避難時の所持品及び、注意事項を記した「緊急避難の心得」、更には自助と助け合いの重要性など、地区民が日頃、情報共有できるチラシなどがあれば、ある程度混乱の回避にもつながると思うが、作成など考えておられるのか。</p> <p>③ 広報・情報が如何に重要か再認識したのではないかと思う。災害対策本部は危機管理課を中心に多数の職員を動員し奔走したが、広報車は巡回したが聞き取れない、避難情報などの問合せがわからない、電話が通じないなどがあった。前回、広報体制の多重化が必要ではないかとの提言もあったが、情報・広報体制整備の進行状況はどうか。また、各世帯への連絡網が円滑に機能するための対策はあるのか。人命最優先の角度からお伺いする。</p>	市長 教育長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	3 番 船 山 利 美 議 員	<p>2. フラワー長井線の今後の在り方について</p> <p>(1) フラワー長井線の開通100年の記念イベントが盛大に開催されたが、課題が山積しており、この節目において今後の在り方についての議論も必要ではないかと感じている。道路交通網の急速な進行で営業経費の大きい鉄道での旅客運送は、限界にきていると思う。山形新聞で「上下分離を模索」との報道もあったが、可能なのか大きな疑問もあるので、次について見解を伺う。</p> <p>① 第3セクターとして開業から約25年、車輛の著しい老朽化、また、コンクリート構造物は50年経過すると劣化が始まり危険になると言われるが、最上川に架かる鉄橋などは100年ほど経過し、輸送の安全面からそれらの更新についてはどうするのか。</p> <p>② 鉄道付近の住宅地において、降雨があれば直ちに低地に水が押し寄せ、線路を横断している6寸の土管では飲み切れない状態となっている。豪雨などが常態化するとの指摘がある中で、水害への懸念の解消は図られるのか。</p> <p>③ 車社会の中、冬季間降雪時の踏切除雪回数が少ない地域で、危うく惨事になる寸前の事例もあり、踏切事故への懸念が高まっているが、それらの対策についてはどうするのか。</p> <p>④ 累積赤字が3億円を越し、単年度でも赤字の解消が見込まれない状況。更には、少子化などで今後も利用者が減少するのは目に見えており、各自治体の拠出金が増額の懸念もある。以上のことから現実的な方策として、バス運行の移行へ模索できないものか。</p> <p>各自治体との絡みもあり、即答できる事案ではないとも思うが、方向を探る観点から、見解をお伺いする。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	4 番 山 口 正 雄 議 員	<p>(4) 公演については、専門の会社に委託すると伺っておりますが</p> <p>① 委託金額と委託業者の業務範囲について。</p> <p>② 年間何回程度の公演を行う予定なのか。</p> <p>③ 地方公演は、距離が遠いため、運搬費、交通費、宿泊費などコストが高くなると考えます。採算を考慮すればチケット料金高く設定されるのではないかと思うがどうお考えかお伺い致します。</p> <p>(5) 自主文化事業の予算及び公演回数、また、PR方法やチケット販売はどのようにお考えかお伺い致します。</p> <p>(6) 新文化会館の名称はどのように考えておられるのか。また、命名権についてどのように考えておられるのかお伺い致します。</p>	
4	1 番 白 岩 孝 夫 議 員	<p>1. 公共施設マネジメントから見た各施策の長期的プランについて</p> <p>今年の烏帽子山公園の桜は開花不良となり、老木化など複合的な原因とされています。市内各学校は耐震化や新築が一段落し、小規模修繕の時期を迎えるものもあります。新文化会館は事業費が大幅に増加しつつ建築に着手しています。</p> <p>こういった状況に鑑み、本市の様々な公共施設について、長寿命化を図り、維持費を圧縮し、もって費用対効果や市民福祉の向上、財政基盤の確立に繋げるべく、以下の点をお伺いします。</p> <p>(1) 公園のマネジメント（烏帽子山公園を例として）</p> <p>① 桜の開花不良に関する調査状況と内容について。</p> <p>② 桜を含む公園の樹木生育にかかる総合的な状況把握の重要性に関する認識について。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	1 番 白 岩 孝 夫 議 員	<p>③ 来年の桜祭りに向けた桜の管理対策は現在まで何を行い、来年までに何を行うか。</p> <p>④ 今後の長期的な維持管理方針は。</p> <p>(2) 学校施設のマネジメント。 新築後10年を経過した赤湯小学校を始めとして、各校の今後の小規模、中規模、大規模の各修繕の予定年度と修繕維持費の見込みを立てているか。</p> <p>(3) 新文化会館のマネジメント</p> <p>① 座席数など、構造計算に関わらない部分での事業費圧縮の検討結果は。</p> <p>② 小規模、中規模、大規模の各修繕の予定年度と修繕維持費の見込みは。</p> <p>③ 1億円を見込んでいた年間の事業費及び維持管理費は現時点でも変更はないか、また適正か。</p> <p>(4) 総合的な公共施設マネジメント</p> <p>① 3月定例会一般質問で、社会資本の整備はまだまだ不足しているものが多い旨の市長答弁があったが、具体的に何が不足しているのか。</p> <p>② 建築を開始した新文化会館を含め、現存する公共施設の総量維持は27年後の2040年においても可能か。</p> <p>③ 公共施設ごとの利用者一人当たりの管理運営コストを把握しているか。</p> <p>④ 教育部門も含め、総合的な見地から見た公共施設再配置計画の必要性は。</p> <p>⑤ 公共施設マネジメントの第一歩としての、一覧性のある「公共施設白書」作成の必要性に関する認識について。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
5	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>1. 池黒峰岸地区災害予防対策について 市長は今年3月の臨時会で「土砂崩れや水害の誘因になる急斜面のところは伐採しない」と回答したが、新文化会館の資材調達のために、土砂災害危険区域の池黒峰岸地区の杉が伐採された。 さらに、9月定例会の一般質問で市長は伐採した方が安全であるような発言をして、地区民の土砂や雪崩災害の心配を逆なでにした。 池黒峰岸地区民が提出した要望書に対する市長回答を踏まえ、以下のことを質問する。</p> <p>(1) 災害予防体制</p> <p>① 警戒パトロールは、具体的にだれがどのようにして行うのか。県との協力と分担はいかにするのか。</p> <p>② 雪崩の発生が危惧された場合は、斜面の雪を一部除去するとあるが、その判断は専門家が行うのか。その費用の予算計上は。</p> <p>(2) 植林 植林は伐採の条件にすると3月臨時会で市長は答弁しているが、当該地の山林所有者に対してはどのように指導しているのか。</p> <p>(3) 災害防止工事 急傾斜地崩壊危険区域として県知事の指定を受けて、防災工事を行う必要があるが県に対してどのような働きかけを行っているか。</p> <p>(4) 伐採地選定の条件 伐採は米沢地方森林組合に委託しており、市は関与していないとも述べたが、発注の際、急傾斜地で災害の怖れがあるところを除くという条件を付与しなかったのはなぜか。また、森林伐採届を受理する際に土砂災害危険区域であることの確認は行ったのか。</p> <p>(5) 災害が生じた際の責任の所在 不幸にも災害が発生した場合はだれが責任を負うのか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	11番板垣致江子議員	<p>1. 産業のまちづくり</p> <p>(1) 観光について 平成26年、10年振りの開催となる山形デスティネーションキャンペーンは、今後10年間を見通した「山形の新たな観光の姿」を提案、実践することにより、本キャンペーンを一過性のイベントとすることなくと、地域経済の活性化の大きな推進力とするべく進められている。</p> <p>南陽市でも、南陽ブランド確立の絶好の機会ととらえ、25年はプレイベントが開催されたが、来年本番に向けての取り組みや姿勢をお伺いします。</p> <p>① 新たな観光資源や着地型旅行商品の造成、それらを結びつける夢のあるストーリー作りなどの企画の状況は。</p> <p>② 菊のまち南陽の「菊まつり」の在り方は。 菊の南陽の最大のイベントの「南陽の菊まつり」も終り、入場者数の大幅な減という残念な結果となったが、その大きな要因は。又、今後の方向性とデスティネーションキャンペーンでの菊まつりの位置付けは。</p> <p>③ 貴重な観光資源 十分一山・スカイパークの充実と活用。 世界的にも賞賛される十分一山のスカイパークからの景観と夜景は南陽の貴重な観光資源、そしてこの地でしかできないハングライダーやパラグライダーの体験飛行などはまさに着地型旅行にふさわしいのではないかと。将来的にも様々な年代の方に楽しんでもらえるよう、施設の充実や望まれているオートキャンプ場の整備等を進め全国に発進すべきと考えるが。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	11 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>④ 体験、滞在型観光の受け入れ体制は 市では第5次総3カ年実施計画でも、自然、歴史、農産物、温泉などを一体的に楽しめる体験・滞在型観光の魅力を高め促進していくとされているが、その取組みと受け入れ体制は。</p> <p>⑤ 「ないしょ話」は南陽の宝物 日本の歌百選にも選ばれた童謡「ないしょ話」は作詞の「結城よしを」（宮内出身）と共に南陽の大切な宝物である。昨年のないしょ話のコンサートをきっかけに制作された、YBCラジオスペシャル「戦場から届いた童謡」は民間放送大賞を授賞され「結城よしを」の名は県内外から注目されているところです。 教育日本一にもふさわしく「童謡のふるさと」として大切に歌いつなぎ、南陽ブランドとしても発進していかねければなりません。駅やまちなかから聞こえる「ないしょ話」、イベント会場で流れる「ないしょ話」。大人も子どももみんな歌える「ないしょ話」。 まるごとブランドとして様々な企画が望まれます。</p>	

